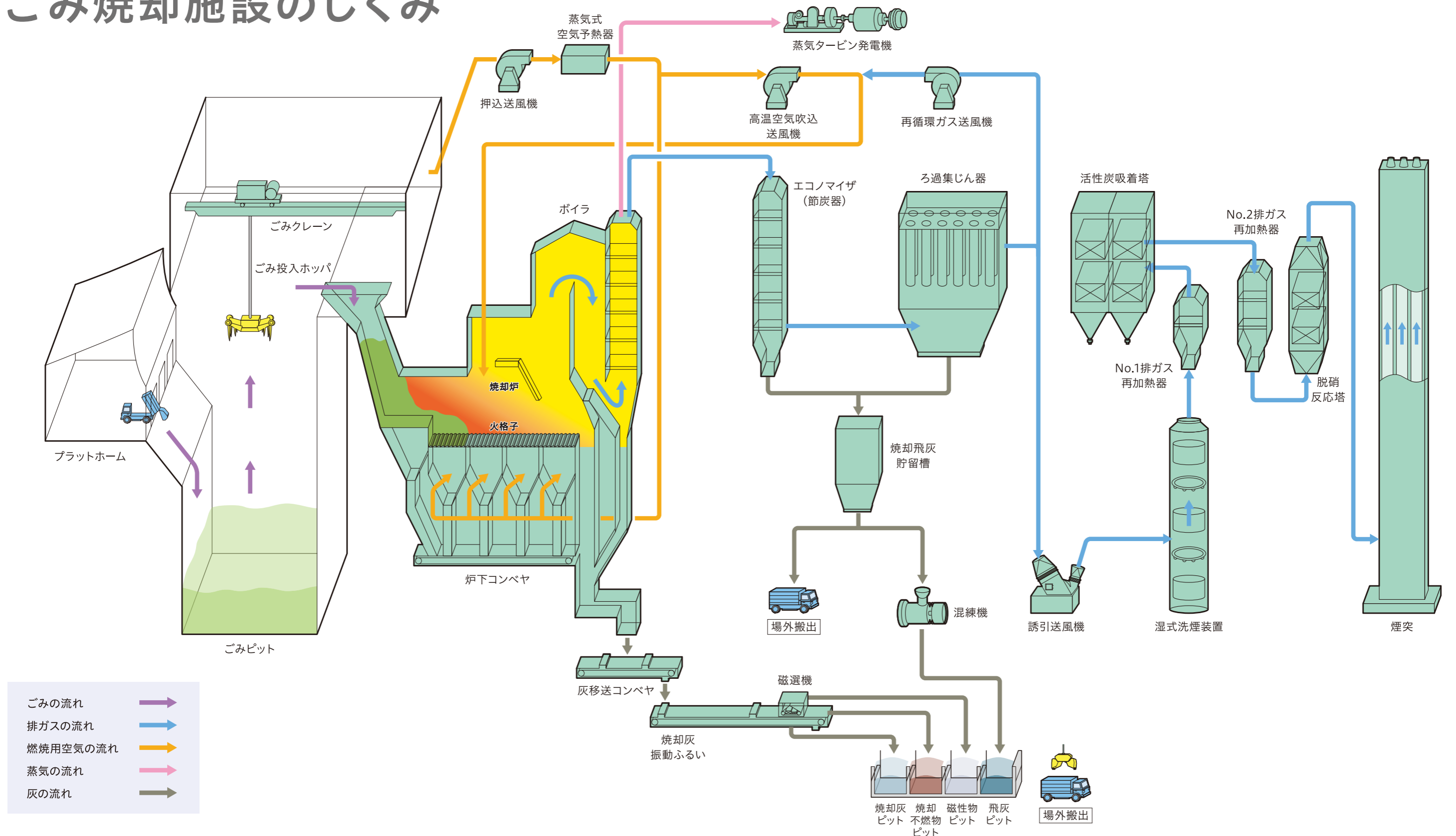


# ごみ焼却施設のしくみ



## ごみの流れ

収集したごみを計量機で計量した後、プラットフォームからごみピットへ投入します。ごみピット内のごみをごみクレーンで混合攪拌し、ごみ質を均一化し、ごみ投入ホッパに投入します。投入されたごみは、火格子の上を送られながら、乾燥、焼却されます。焼却炉は自動燃焼制御装置による高度な制御のもとで運転されています。

## 排ガスの流れ

ごみの燃焼により発生した高温の排ガスはボイラ、エコノマイザで熱回収されます。排ガス中のばいじんをろ過集じん器で捕集した後、湿式洗煙装置で塩化水素、硫酸化合物を除去し、活性炭吸着塔でダイオキシン類を吸着除去します。そして脱硝反応塔で窒素酸化合物を水と窒素に分解します。

## 燃焼用空気の流れ

ごみピットの臭気が施設外に出ないように押込送風機によりピットの空気を吸込み、ごみの燃焼用空気として利用します。再循環させた排ガスと高温空気を焼却炉内に吹き込むことにより、低空気比での安定燃焼を実現し、ダイオキシン類などの有害物質の発生を抑制します。

## 蒸気の流れ

炉内の熱と排ガスの熱をボイラにより回収した後、蒸気に変換し、蒸気タービン発電機で発電を行います。発生した電気は施設内で利用し、余剰電気は売却します。

## 灰の流れ

焼却炉で完全燃焼したごみは焼却灰となり、焼却灰に混入している不燃物は焼却灰振動ふるい、磁性物は磁選機で選別除去し、各ピットに貯留します。不燃物、磁性物を除去した焼却灰は焼却灰ピットに貯留します。その後、場外搬出し、再資源化や埋め立て処理します。ろ過集じん器で捕集したばいじんは、飛灰と呼ばれ、焼却灰等と同様に再資源化や、混練機で薬剤処理を施した後に埋め立て処理します。